

外科 専門研修プログラム

多くの手術症例経験を通して、将来リーダーたる外科医となるよう全力でサポートします！

千葉大学病院では、本邦の施設の中でも有数の手術症例数を誇っており、外科の最も根幹をなす手術について豊富な経験を積むことができます。加えて、各専門領域別の充実したカンファレンス等をおし、一連の診療体系について、最先端の知識を得ることができます。また、その関連施設も多岐に及び、基本的な疾患に対する治療についても十分な経験ができるように研修を進めます。

このように、最先端の知識に基づいて、また、一方でチームワークを基礎とした患者さん本位の治療を進めていく事で、将来、リーダーたる外科医を育てることに全力でサポートをしていきます！

受入れ人数 : 30名
選考方法 : 書類選考、面接



■ プログラムの“ここがポイント”

＜柔軟で発展的な研修プログラム＞

1. 豊富な手術経験を通して、早期に確実に研修到達目標を達成できる。
2. 各自のニーズに基づいて、研修プログラムを設計できる。
3. 豊富な関連施設で、地域研修、一般外科研修も経験できる。
4. 研修中に、積極的に学会、研究会に参加してアカデミックな知識を得ることができる。
5. 研修中に大学院に入学してリサーチマインドを涵養できる。

＜充実した研修体制＞

1. 協力病院と大学病院で幅広い外科診療を経験できる。
2. 大学病院では特に最先端の外科診療を学ぶことができる。
3. 多くの関連施設にて、一般外科、地域研修を経験できる。
4. コモンディーズから希少疾患まで豊富な症例を経験できる。
5. 学会、研究会を通してアカデミックなマインドを育てることができる。
6. 熟練した指導医による丁寧な指導を受けることができる。

外科専門研修 担当診療科

食道・胃腸外科
肝胆膵外科
乳腺・甲状腺外科
心臓血管外科
呼吸器外科
小児外科

豊富な手術経験を通しての専門研修を行います。また、アカデミックなマインドを育てていく事を目標としています。各専攻医に合わせたプログラムの選択も可能にしています！

■ プログラムの内容

1. 外科選択(Subspeciality重点)コース

2. 総合外科系コース

3. 大学院連動コース

- 専門研修期間 : 3-4年
- 研修連携施設・特別連携施設
- 58施設

■ プログラム責任者 **松原 久裕**
(先端応用外科学)

■ 研修プログラムに関するお問合せ先

先端応用外科学 丸山通広
Tel: 043-226-2110
e-mail: michi-maruyama@chiba-u.jp

お気軽に
お問合せ
ください！

国立がん研究センター東病院、国立病院機構千葉医療センター、千葉県がんセンター、千葉県循環器病センター、千葉県救急医療センター、済生会習志野病院、千葉市立青葉病院、千葉市立海浜病院、千葉労災病院、君津中央病院、いすみ医療センター、大網病院、東陽病院、松戸市立総合医療センター、匝瑳市民病院、成田赤十字病院、JCHO船橋中央病院、多古中央病院、東千葉メディカルセンター、都立多摩総合医療センター、佐々木研究所附属杏雲堂病院、聖隷横浜病院、小田原市立病院、さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、上都賀総合病院、聖隷佐倉市民病院、国立病院機構千葉東病院、千葉県立佐原病院、さんむ医療センター、公立長生病院、JCHO千葉病院、千葉メディカルセンター、清水厚生病院、国際医療福祉大学塩谷病院、とちぎメディカルセンターしもつが、船橋市立医療センター、沼津市立病院、JA熊谷総合病院、横浜労災病院、鎗田病院、最成病院、帝京大学ちば医療センター、東邦大学医療センター佐倉病院、藤田医科大学病院、千葉県こども病院、東京女子医大八千代総合医療センター、日産厚生会玉川病院、川崎幸病院、国際医療福祉大学市川病院、千葉中央メディカルセンター、袖ヶ浦さつき台病院、辻仲病院柏の葉、国際医療福祉大学三田病院、習志野第一病院、都立墨東病院、国立成育医療研究センター、国際医療福祉大学成田病院

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>

外科選択コース

- 外科専門研修に必要な症例数を中心に、広く外科専門研修を2年次まで行い、3年次はサブスペシヤリティまたはそれに準じた症例を中心に研修を行います。
- 研修基幹施設(千葉大学医学部附属病院)でまず初年度の研修を行い、その後、連携施設での研修を行います。
- 外科系診療科(食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科)が提携していますので、外科専門医取得に十分な経験を積むことができます。
- 4年次以降もより専門的なサブスペシヤリティ領域に特化した研修を継続することができます。
- 他のコースへの途中変更なども相談に応じて可能となります。
- 2年次以降は臨床研究、基礎研究を通して、アカデミックなマインドを育てます。

1年次	一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/麻酔/心臓血管/呼吸器/ 小児/乳腺・内分泌 (研修基幹施設)経験症例150例以上(術者20例以上) 学術発表 5単位以上
2年次	一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/麻酔/心臓血管/ 呼吸器/小児/乳腺・内分泌 (研修基幹または連携施設) 経験症例350例以上/2年(術者120例以上/2年) 臨床研究開始(基幹施設)
3年次	不足症例に対しローテーション (研修基幹または連携施設)
4年次以降(オプション)	より専門的なサブスペシヤリティ領域に特化した研修に移行 (肝胆膵外科、食道・胃腸外科、乳腺甲状腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科) 臨床・基礎研究(基幹施設)

外科専門医
認定試験

最も多くの専攻医が選ぶと思われるコースです。まずは外科の基礎を固めて、その後にサブスペシヤリティ領域を中心にトレーニングできます。

総合外科系コース

- 3年次まで、広く総合的に外科専門研修を行うコースです。
- 外科専門研修に必要な症例数を中心に、広く外科専門研修を3年次まで行い、外科専門医の取得を目指します。
- 外科系診療科(食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科)が提携していますので、外科専門医取得に十分な経験を積むことができます。
- 4年次以降にサブスペシヤリティを選択して、より専門的な研修を行うことを強く推奨します。
- 学術発表などを通して、臨床研究のマインドを広げます。

まだ、どのサブスペシヤリティを専攻するか決めていない方におすすめのコース。外科系領域を広く学ぶことができます。

大学院連動コース

- 3年次以降に千葉大学大学院に進学し、臨床研究、または学術研究・基礎研究を開始するコースです。
- 外科専門研修に必要な症例数を中心に、広く外科専門研修を2年次まで行い、3年次以降はサブスペシヤリティに特化した研修を進めます。
- 豊富な手術症例をとおり、質の高い臨床、基礎研究を進めることができます。
- 学術発表、論文作成などを通して、研究のマインドを広げ、アカデミックサージョンの育成を目指します。

より深く、サブスペシヤリティ領域を極めたいと考えている方におすすめのコース。基礎系研究室との連携も可能です。